# はじめに

　本日は年度末のお忙しい中、記者会見の場にお越しいただきありがとうございます。

私、中西大輔は2024年8月に告示される五島市長選挙に無所属で立候補を予定しています。

本資料では、出馬動機と実現したい政策、今後の活動について紹介させて頂きます。

# 出馬動機

　2021年2月に市議に当選してから3年間、議員として五島市政に関わらせて頂きました。

その中で、市民の為に使われていない予算や、事前の検証が不十分な事業が少なからずありました。

こうした提案に対しては、市議会議員として是々非々で検証し、修正案を提示してきました。

それだけでなく、地域をくまなく回り、市民にとって必要な政策や方向性を常に探してきました。

年に4回の議会定例会では、そうした提案を毎回欠かさずに一般質問で提案してきました。

しかし、修正案や提案は殆ど採択されず、市民を代表する立場の一員として歯がゆい思いがしていました。

提案しても変わらない、ならば自分でやるしかない、という事で、出馬を決意致しました。

# 実現したい政策 (**太字**は重点政策)

## 若者が集まり、定着できる五島市へ

* **一次産業や社会福祉など、島の特性を活かした学部や学科の誘致を進め、若者を呼び込む**
* **航路・航空路運賃の島民割引の対象拡大を目指し、島選出の国会議員と連携して国へ訴える**
* 職場の人手不足対策として「離島ワーキングホリデー」を導入し、五島での就労体験機会を増やす

## 子育てがしたくなる五島市へ

* **小中学生の給食費の無償化し、オーガニック給食を推進して地元食材の割合を増やす**
* **廃校や体育館・公民館を最大限に活用し、雨の日の子供が楽しく遊べる場所を整備する**
* スクールバス導入を含めた小中学生の通学手段をしっかり確保する
* 五島の自然を活かした農業・漁業体験の機会を増やす
* 子供たちが本物の芸術（音楽、芸能、アートなど）に触れる機会を増やす
* 不登校の子供たちがのびのびと過ごせる居場所を整備し、進路支援にも注力する

## 老後に住みたい五島市へ

* **移動販売・移動サービスを充実させ、買物や通院が困難な人に対する支援を強化する**
* **二次離島を含む医療資源の乏しい地域の緊急搬送の体制づくりを強化する**
* 地域猫活動に取り組む市民間の繋がりが生まれる場を増やし、不幸な猫の数を減らす
* 生活に不便をきたす道路の補修や整備に対する要望にきめ細かく対応する
* 独居高齢者が地域や社会と繋がりを保てる機会を増やし、心身の健康を高める
* ライドシェアを活かした移動手段の確保を図り、島内交通を支える運転手を増やす

## 環境で世界をリードする五島市へ

* **大量生産・大量消費の生活スタイルを見直し、昔ながらの地域資源が循環する島を目指す**
* 環境系学部や学科の誘致を図り、海ごみを通じたイベントや交流の場を設け、世界中の人と連携する
* こども食堂や地域交流会を通じ、食べられないまま捨てられる食材を有効に活用する

## 一次産業がしたくなる五島市へ

* **畜産経営の安定化に向け、販路の拡大と島内消費の拡大を促す**
* **自然環境と調和した農業の普及を目指し、生産者同士の勉強会、スーパーと連携した販売促進を展開する**
* オーガニックを推進する団体、自治体、大学、企業との連携を図り、生産を学ぶ学校を誘致する
* 水産学部や水産学科の誘致を図り、藻場の再生や漁業経営の安定に繋がる研究を推進する
* 五島市の山林の資源を有効に活用するため、地元産木材の普及を促進し、伝統文化の継承を図る

## 政治が身近に感じられる五島市へ

* **市長自ら職場や自治会、子育て世帯の声を小まめに聴く場を設け、意見交換会の中から政策を作る**
* インターネットを最大限に活用し、今まで届かなかった声を、政策作りに活かす
* ふるさと納税の基金を活用し、市民が望む政策を予算に反映させる

## 誰もが活動しやすい五島市へ

* **障がいの有無に関わらず、誰もが意見を気軽に表明でき、活き活きと活躍できる機会を増やす**
* **パートナーシップ制度を導入し、誰もが平等な社会サービスを受けられる環境を創る**
* **仕事や趣味で使うパソコンやスマホを学べる機会を増やし、AI社会に適応できる力を高める**
* 公共施設の利用ルールや料金体系を見直し、インターネットから全ての施設を予約可能にする
* 公民館にWi-Fiを設置し、市民活動の拠点としての利便性を高め、市外の人も気軽に使えるようにする
* 廃校・空き屋・公民館など、市が持つ建物を積極的に活用し、活動したい団体や個人の受け皿とする

## 働きたくなる五島市役所へ

* **外部人材や専門家の力を導入し、パワハラやセクハラで苦しむ職員が０の職場を目指す**
* 費用対効果の乏しい事業をしっかり検証し、市民目線に合った事業への転換、見直しを行う
* 役所の組織ルールと働き方を見直し、専門性の高い市職員の力を活かす
* 国や県からの依存体質の脱却を図り、自主財源の確保を推進する対策チームを発足する
* 市役所の窓口対応のレベル向上を目指し、「また行きたくなる」窓口サービスを目指す
* 支所への予算・権限・部署の割り当てを見直し、福江一極集中の是正を図る

# 今後の活動

市民の皆様から新市長に「期待する事」や「実現してほしい事」の意見を集める活動をインターネット（Instagram、Facebook、X、YouTube、HP）や対話集会で行い、上記の「実現したい事」に磨きをかけ、6月末までに選挙公約としての完成を目指します。